

## 四国能開大 応用課程見学

9月11日(水)、1年生が四国職業能力開発大学校(以下、四国校)の応用課程を見学に行きました。応用課程とは、当校で2年間学んだ後に進学できる2年間の教育課程です。応用課程では、OJTを意識した教育訓練システムにより、高度な技能・技術や企画・開発能力などを習得し、ものづくりの先生や現場のリーダーとしてふさわしい素地を身に付けることができます。四国校の応用課程へは、当校から毎年多くの学生が進学しており、学生たちは概要説明を聞いたり、制作物を間近に見ながら進学へのイメージを高めていました。



まずはオリエンテーション。相良校長のお話を聞き、それぞれの科に移動します。



各科の概要説明を聞きます。どんな事を学ぶのかな?学校生活はどうか…イメージをふくらませます。



お昼になりました。四国校のぶっかけうどんはオススメですよ(^^) 220円。ちなみにかけうどんは170円でした。





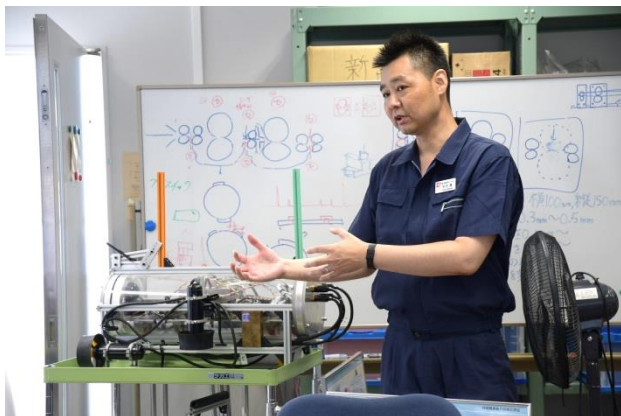
電子情報技術科の学生たち



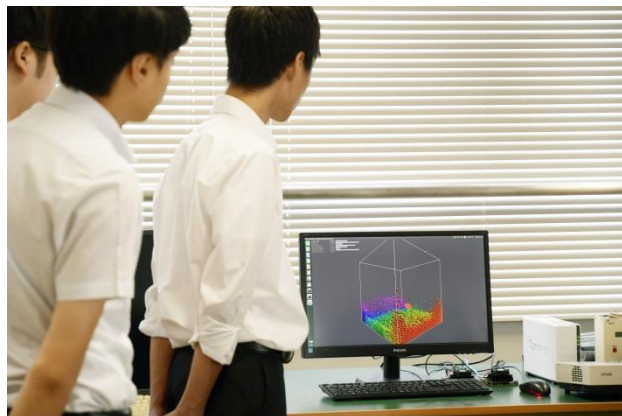
生産技術科の学生たち



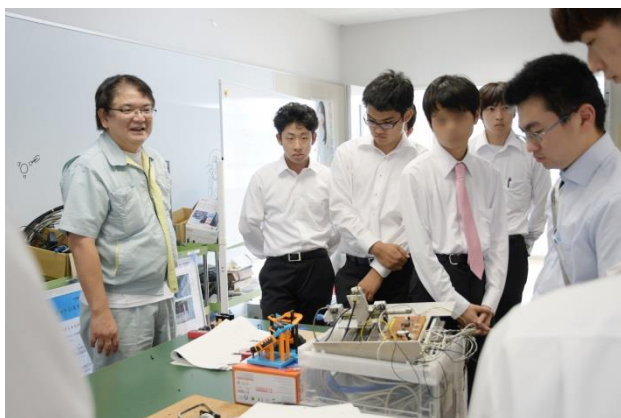
くつろぎのひとつ。校内を見て回ったり、寮の見学をします。



4年生の課題は、企業とタイアップした実践的なテーマです。



高速演算可能なマイクロコンピュータによるシミュレーション



開発課題では、ロボットの試作品を作って、動きをチェック



1、2年次で学んだ技術を3年次ではどう活用するか、説明を聞いています。





自然エネルギーを電気エネルギーに変換するシステム



電気自動車のモータ制御を用いたカートで試走して実感します。



3年生の課題「ピックアップ&プレイス」。爪の形を考えて作ります。



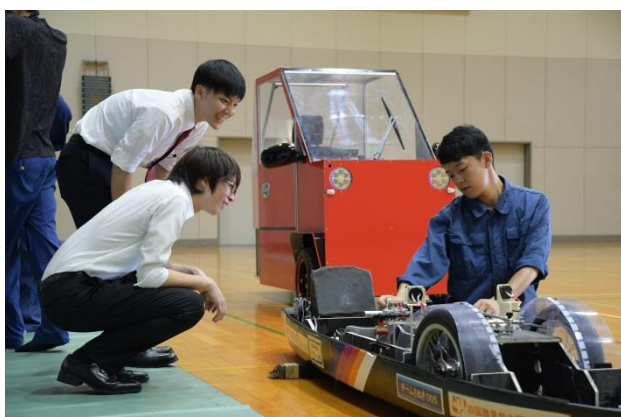
4年次の卒業制作「歯科技工省力化装置の開発」



進学した当校の先輩と一緒に



卒業生が先生に会える機会でもあります。笑顔で近況報告します。



エコカーレースで2年連続準優勝をした燃料電池自動車を見学しています。実際に試乗して、大興奮！

